

予算・今後の予定

予算調査特別委員会の委員長としての取り組み

令和7年2月26日の予算審査特別委員会で、令和6年度補正予算に関する総括質問を実施。物価高騰対策、まちづくり、公共施設活用、子ども支援、地域産業振興など、多岐にわたるテーマについて各会派から質問が寄せられ、活発な議論となりました。区からの答弁により区政の課題が明確になり、審議の結果、一般会計及び4つの特別会計補正予算は賛成多数で可決。今後も委員長として公平な審議を進め、区民生活の向上に取り組んでいきます。



青年部で勉強会を実施(次世代リーダー育成)



板橋区民マイナンバーカード保有率の第1回勉強会で、区民のマイナンバーカード保有率と今後の課題について講演を行いました。マイナンバーの基本概念、問題点、ミスの実態、保有率、安全性などの要点を解説。重要なのは、センセーショナルなニュースではなく、客観的事実と数値に基づく冷静な判断です。正確なデータによる実態把握が政策立案の基盤となり、政府のデジタル化推進と歩調を合わせ、区としてもDX化による行政サービスの効率化を目指します。皆さまのご意見をお待ちしています。

今後の予定

**予算委員長として、
令和7年度予算審議の適正な運営に努めます。**



お困りごと、ご意見等はお気軽にご相談ください。
LINEほか、各種SNSでも受け付けております！

板橋区議会議員 内田けんいちろう事務所

〒175-0082 東京都板橋区高島平 1-42-1-107 電話：050-3556-1934 FAX：03-6868-7834 E-mail：info@kenichiro.jp

板橋区区政レポート vol.6

うちだ



内田けんいちろう

地域キラツと、 子育てニコツと！

(地域経済活性化・子育て支援の充実)

2025
3
March

直接相談
できる！

内田けんいちろう公式
LINE@

ID検索から「@kenichiro」で検索！
またはQRコードを読み込んで友だち追加！！



都市建設委員会に所属

「上板橋・大山・板橋駅」周辺のまちづくりを視察し、各地域の課題を現地で確認。経済合理性と社会的便益の観点から、効果的なスペース活用の方向性を探りました。仙台市議会への視察では「ウォークアブルなまちづくり」について、車中心から歩行者中心への街路再構築の取り組みを学び、理解を深めることができました。その中で、住民と訪問者の視点の調整という新たな課題も浮上。この経験と知見を活かし、板橋区・高島平の今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。



ゼロカーボンシティ推進特別委員会 委員長就任

本会議にて、ゼロカーボンシティ推進調査特別委員会の委員長報告を行いました。委員会では食品ロス削減について議論し、「たべきりコンテスト」「たべすけ」「フードドライブ」などの取り組みを紹介。数値目標の設定や環境配慮行動を身近にする仕組みづくりの必要性も指摘されました。他の委員や区職員の発言から新たな気づきを得たことは貴重な経験です。今後もゼロカーボンシティ実現に向けて、共に取り組んでいきます。



予算調査特別委員会 委員長就任

令和7年第1回区議会定例会で、予算審査特別委員会の委員長を拝命しました。限られた審査期間内で公正かつ円滑な運営に努め、活発な議論を促していく所存です。本会議第1日目では、代表質問や令和6年度補正予算の審議、予算審査特別委員会の設置が行われました。3月から令和7年度予算審議が本格化します。区民生活に関わる重要な議論の様子は、随時お知らせします。ご意見をお寄せいただければ幸いです。



活動ハイライト

議会活動

✓ 6月一般質問に登壇

令和 6 年第 2 回区議会定例会初日の一般質問で区長から前向きな答弁を得ました。円安・物価高対策として区内事業者向け相談体制の整備と「地域の人事部」導入の検討を提案。教育面では小中学校トイレ改修後のアンケート実施や、冒険家・阿部雅龍氏の植村冒険館での企画展示など、期待できる内容となっています。



✓ 議会で取り上げ続けているトイレを綺麗にする対策を実施

板橋区内の公園・公衆トイレは約230箇所存在するものの、年間改修可能数は約4箇所に限定。このペースでは全箇所の改修に60年を要するため、個数削減や改修頻度向上などの抜本的改善を議会で提起。改修済みトイレは特に匂い解消で顕著な効果を示しており、今後も区と共に効果的な対策を進めていきます。



地域活動

✓ あわたか(高島平阿波おどり)を開催し、商店街を活性化

約 30 年ぶりに高島平地区で阿波踊りが復活し、キッチンカーやいたばしプロレスなど多彩なイベントも同時開催。沿道には延べ 1 万人が集まる盛況ぶりを見せ、今回は 2025 年 9 月 14 日に開催予定。第 2 回目の阿波高も地域活性化の起爆剤として期待が高まっています。



✓ Bridge Partyの開催

2024年4月28日、5年ぶりのBridgeParty2024を開催。当初の予想を大きく上回る3,000人以上が来場し、大きな賑わいとなりました。ご来場の皆様、協賛企業、出店者、演者、音響スタッフ、ボランティアの方々のご協力に感謝申し上げます。次回は2025年4月27日(日)開催。



問題提起と提案

教育支援活動

✓ 教員の負担軽減へ スクールロイヤー制度の活用を推進

教育現場の課題解決を目指し、区議会で「スクールロイヤー制度」改善を提案しました。教員不足の中、教職員の直接法律相談と天理市型「保護者対応窓口」導入を訴求。区側は制度は存在するが管理職からの相談が主体と回答しました。今後は校長会を通じ制度周知を強化し相談環境の改善を図ります。教職員が教育に集中できる環境づくりへ、さらなる改善を要望したいと思います。皆様のご意見をお待ちしております。



✓ 子ども服・おもちゃのリサイクルをもっと身近に!

区議会で子ども服・おもちゃのリサイクル事業を議論しました。利用者の声から、アクセス良好な場所でのリサイクル会開催と保育園での子ども服サブスク導入を提案。区はリサイクルプラザでの交換会が好評だがアクセス面の課題を認識し、開催場所拡充を検討することに。子ども服サブスクは他自治体事例を研究し導入の可能性を探る方針です。家計負担軽減と環境配慮の取組み推進に向け、今後も区民の声を区政へ反映していきます。



地域貢献

✓ 地元のシニアクラブでサックス披露(世代間交流の促進)

「生のサックスを聞かせて」という依頼を受け、区議会議員5年目で初めての演奏機会を得ました。幼少期に音楽環境に恵まれなかった経験から、地元子どもたちに本物の音楽を届けたいとの思いでイベントを計画。「Quizás, Quizás, Quizás」「故郷」「Harem Nocturne」の演奏を通じて参加者と温かい時間を共有し、音楽による地域交流の輪を広げる契機となりました。



✓ 個人的に意見交換会を実施し、区民の声を直接聞く機会を増やす

この日の意見交換会で「災害時のペットとの同行避難」について議論を展開。現在の避難所はペット同伴可能だが、居住空間は人と動物で分けられている状況。特に病気や高齢ペットの常時見守りとケアが大きな課題となっています。参加者からはテントの活用やペット専用避難所など様々な提案が出され、安全性の確保とコスト抑制を両立した避難選択肢の拡充に向け、検討を重ねていく方針です。

